

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【公開番号】特開2017-215388(P2017-215388A)

【公開日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-047

【出願番号】特願2016-107966(P2016-107966)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/20 5 3 5

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月12日(2019.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

加熱手段により加熱される被加熱部材と、
付勢手段により前記被加熱部材に圧接される圧接部材と、
前記付勢手段の付勢力に抗して、前記被加熱部材から離間する方向へ前記圧接部材を移動させる移動部材と、
駆動源の駆動力を前記移動部材に伝達する駆動伝達機構とを備えた定着装置において、
前記駆動伝達機構は、遊星歯車機構と、ウォームギヤとを有する定着装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の定着装置において、
前記ウォームギヤは、前記駆動源の駆動出力軸と同軸上に設けたウォームと、該ウォームに噛み合うウォームホイールとで構成されており、
遊星歯車機構を、ウォームホイールの内部に設けたことを特徴とする定着装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の定着装置において、
前記遊星歯車機構は、太陽歯車と、該太陽歯車と同軸上に配置された内歯歯車と、前記太陽歯車と前記内歯歯車とに噛み合う遊星歯車と、前記遊星歯車を回転自在に支持するキャリアとで構成されており、
前記ウォームホイールから前記太陽歯車に駆動力が入力され、前記キャリアから駆動力が出力されるように構成したことを特徴とする定着装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の定着装置において、
前記キャリアに、前記遊星歯車機構から駆動力が出力される駆動出力部材と係合する係合部を設けたことを特徴とする定着装置。

【請求項 5】

請求項 2 に記載の定着装置において、
前記遊星歯車機構は、太陽歯車と、該太陽歯車と同軸上に配置された内歯歯車と、前記太陽歯車と前記内歯歯車とに噛み合う遊星歯車と、前記遊星歯車を回転自在に支持するキャリアとで構成されており、
前記ウォームホイールから前記太陽歯車に駆動力が入力され、前記内歯歯車から駆動力が

出力されるように構成したことを特徴とする定着装置。

【請求項 6】

請求項 3 乃至 5 いずれかに記載の定着装置において、
前記遊星歯車機構から駆動力が出力される駆動出力部材を、前記遊星歯車機構のキャリアに支持したことを特徴とする定着装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 いずれかに記載の定着装置において、
前記ウォームギヤのウォームの回転軸方向から対向し、前記ウォームが取り付けられた軸から前記ウォームが抜けるのを防止する抜け止め部を設けたことを特徴とする定着装置。

【請求項 8】

像担持体上にトナー像を形成するトナー像形成手段と、
前記トナー像を前記像担持体上から記録材上に転写する転写手段と、
前記記録材上に転写されたトナー像を該記録材に定着させる定着手段とを備えた画像形成装置において、
前記定着手段として、請求項 1 乃至 7 いずれかに記載の定着装置を用いることを特徴とする画像形成装置。